

まつだより

ごあいさつ

まかせてください! つなぎます! だいな声を、カタチにします!

誰一人取り残さない社会へ!

山科区の皆さま こんにちは。

コロナ禍はようやく峠を越えつつありますが、平和を脅かす国際情勢に起因する急激な円安の影響を受けた物価高、エネルギー高が、家計や事業活動に深刻な負担と大きな影響を及ぼしています。

多くの方が様々な不安を感じておられる中で、「ウイメンズトーク」を活動の中心にして、現場の小さなお声に耳を傾け、女性の視点からの政策実現に取り組んでいます。

誰一人取り残さない社会の実現へ!

これからも、「よく聴く・寄り添う・すぐ動く」の姿勢のまま、魅力あふれる

山科と京都の発展を、皆さまのために全力で働いてまいります。

東野公園

故障した遊具がここ数年に亘り、設置されたままになっており、多くの区民の皆さまから、「危険なのでは?」等の「声」を寄せて頂いておりました。担当部局へその声を届けた結果、撤去される事が決定。

令和5年5月22日(月)、使用禁止になっていたブランコ及び複合遊具が撤去されました。

ひとりの声を届け続けて 未来のカタチ 遊具設置へ 要望書を提出!

東野公園をはじめとする「運動公園におけるインクルーシブな遊具設置の整備促進を求める要望書」を、令和5年7月26日(水)、市民グループ「ミラスト!つながる“こうえん”プロジェクト」の方々と、京都市へ要望を行いました。

※インクルーシブとは、「包摂的」という意味で「あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう支援し支え合う」という社会政策の理念を表し、インクルーシブな公園とは、障がいのあるなしに関わらず、あらゆる子ども達が一緒に遊ぶことができる遊具を備えた公園のことです。

※「ミラスト!つながる“こうえん”プロジェクト」は、障がいのある子どもも含めて子育てをしているお母さんたちのグループ。



緊急要望を門川市長へ提出

物価高騰から市民生活を守る!

第4弾

1. 低所得世帯を対象とした1世帯あたり7万円の給付を速やかに支給すること
あわせて、給付や定額減税の恩恵が十分に受けられない方々への支援についても、国が決定した場合迅速に対応すること
2. 物価高騰の影響を受ける子育て世帯の支援に取り組むこと
3. 地域公共交通について、運行を維持できるよう経営支援を行うこと
4. 中小企業などの事情を踏まえ、負担軽減策等を講じること



「令和6年度京都市予算編成に対する要望書」を門川市長へ提出

～令和6年度予算に反映されることを強く要望!～

公明党京都市議員団は令和5年10月12日、令和6年度京都市予算編成にあたり全91項目を要望として提出しました。

【要望書の内容(一部抜粋)】

1. 生活困窮・孤独・孤立・ひきこもりなど苦しんでいる方々に対し、個人だけでなく世帯を包含した重層的支援体制を構築すること。
2. 子ども医療費支給制度については、入院・通院ともに更なる無料化ができるよう取組を進めること。
3. 带状疱疹ワクチン接種の助成制度を国の動向を注視しつつ導入を検討すること。
4. バリアフリー化を進めるために、都市部周辺地域においても歩行者優先の魅力的なまちづくりに向けて取組を充実させること。
5. インバウンドの回復に対応し、市民生活との調和が図られた安心・安全で持続可能な観光の実現に取り組むこと。



松田けい子 プロフィール

- 生年月日 1966年8月18日生まれ
- 出身 京都市左京区(しし座 O型)
- 家族 夫と1男3女(双子含む)の6人家族
- 趣味 読書・スポーツ観戦
- 好きなもの トマト・花・花柄・陶器好き
- 座右の銘 「生き行く力を持つ人は常に強く、常に感謝ある人は幸いなり」

- 防災士、認知症サポーター
- 1985年関西創価高等学校卒業
- 1987年京都コンピュータ学院卒業
- 2019年京都市議員初当選(現2期目)
- 2022年 教育福祉副委員長
- 2023年 まちづくり委員長



最新情報は
こちらから



公式サイト
<https://matsuda-keiko.com>



みなさまのご意見・ご要望をお聞かせください。「ちっさなチカラもち」あなたの声に寄り添います。

公明党
京都市議員

まつだ
松田けい子

〒607-8162 京都市山科区柳辻草海道町4-7 イーグルコート柳辻3アベックス202
TEL:070-2266-9499 FAX:075-330-6540
メール:omoiyari.km@gmail.com

松田けい子 検索

視察調査活動

子育てを切れ目なく

国家戦略特別区域における保育状況について

団地再生プロジェクトについて

若者・子育て世帯のために



京都市における持続可能な保育の参考にするため、縦割り保育や定員引き下げ状況を視察。

宇治川ラボラトリー (京都大学水理実験施設) へ

防災・減災対策



京都市における市営住宅の取組みの参考にするために堺市へ。若年層向けに部屋のリノベーションを通じた居住状況や若年層居住による団地活性化状況、多世代交流への取組みを視察。

京都市における今後の防災・減災対策の参考とするため、水害・土砂災害等に関する災害の防止、軽減を目的とした多種多様な実験研究の拠点である宇治川オープンラボラトリーを視察。「浸水体験実験装置(ドア模型)」は、家の外に水が貯まった場合、実際に脱出できるかの体験、「降雨装置」は、1時間に200mmの強さの雨の体験、「流水階段」では、主に地下街にいる場合に、流れ込む水に対して逃げる体験などを行い、避難時の課題等を確認することができました。



共生社会の実現に取り組んでいます

男性用トイレにサンタリーボックス

尿漏れパッドを使用する方のために、男性用トイレにサンタリーボックスを設置しました。市庁舎をはじめとする市有施設や地下鉄駅のトイレにもあります。



京都市議会 2023年9月 定例会



代表質問

10月3日(火)、京都市会本会議において、公明党京都市会議員団を代表し質問しました。



誰一人取り残さない！すべての子ども・子育て世帯の応援を

働いていなくても保育所などを時間単位で柔軟に利用できる仕組みの創設

子育てニーズを踏まえた保育サービスの充実について

Q 未就園児の親の育児負担の軽減や孤立を防ぐとともに、子どもにとっても集団生活の経験による発育への効果が期待される、こども誰でも通園制度の実施に向けた取り組みや、あらゆる保育施設を最大限活用した仕組みづくりを進めるよう求めるがいかがか。

A こども誰でも通園制度は、円滑な実施につなげ、誰もが安心して子育てできる環境を構築していく。

スペシャルニーズに応えたい～医療的ケア児への支援

地域の小中学校における支援体制について

Q 地域の小中学校における支援体制を、看護師のチームによる巡回制とすることで、より柔軟で安定した支援体制が可能となると考えるがいかがか。

A 看護師のチーム体制による巡回制は、専門性や安全性確保の観点から有効な手段であるため実施する。

小さな声を聴くチカラ



山科の未来のまちづくりのために

新たなまちの価値を創造する施策

マンションの円滑な再生に向けた取組みについて

Q 2023年4月に施行された、「みんなが暮らしやすい魅力と活力のあるまち」の実現にむけた都市計画の見直しによって、山科区をはじめとする、規制が緩和された地域に建つ既存マンションの将来的な再生にどう取り組んでいくのか。

A 国の法改正や制度拡充などの最新の動向や、ノウハウを有する事業者と連携した先事例の紹介等を、的確・適切・タイムリーに管理組合へ届け、分譲マンションをはじめとする既存ストックの良好な管理、再生を支援し、若い世代に選ばれる持続可能なまちづくりを進めていく。

災害時における支援について

Q 非常用電源の確保について補助制度の導入や個別避難計画の作成支援、緊急・災害時の避難マニュアルを当事者に共有するとともに、周知徹底すべきでは。

A 緊急・災害時の避難マニュアルを必要な方すべてに配布する。非常時の電源確保の状況を把握しその方策の研究を進めるとともに、個別避難計画の策定も含め、ご家庭に応じた支援を行っていく。



市民の安心・安全対策のために

電動キックボード

新たなモビリティに対応する環境整備について

Q 電動キックボードに係る市営駐車場における取り扱いや放置対策の周知、スペース確保や関係機関等と連携した安全対策及び情報発信に取組むとともに、技術革新による新たなモビリティの出現に臨機に対応すべき。

A 今後の普及状況と課題を把握し、必要な利用環境の整備を行う。関係機関等と連携し、ルールやマナーの徹底、情報発信に取組む。新たなモビリティの活用は、既存の公共交通が密ではない地域における移動手段の確保等に資するものであることから、安全性の確保を大前提とし、今後の動向を見据え取組む。

